

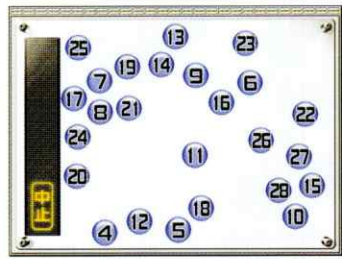
# タッチパネルを押しながら 楽しく簡単、短時間で 脳年齢・ストレス度を測定!

脳年齢計ATMTは画面に不規則に散らばる数字を順に押して行くことで脳の機能年齢を測定します。画面にタッチするというゲーム感覚で、楽しく簡単に脳年齢チェック、ストレスチェック、トレーニングが行えます。ATMTでは脳が無意識に行っている記憶力(ワーキングメモリー)、視覚的探索能力、精神活動の柔軟性、注意力の持続(疲労)、運動能力など多くの機能が要求されます。これらは加齢による影響を敏感に受けます。また、ATMTは学術的信頼性が高く、精神機能のスクリーニングにも役立ちます。測定結果はプリントアウトして、詳細なアドバイスも可能です。各分野においてATMTは幅広く、ご利用いただけます。

◆1から25まで数字にタッチするだけ!

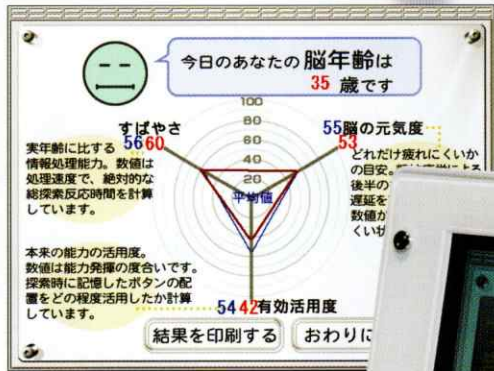
◆20~90歳まで幅広い年齢に対応!

◆約5分程度で脳年齢を測定



↑2回目、数字の位置が1回タッチすることによってランダムに変化します。  
←1回目、数字が固定位置にあり、1~25までタッチします。

<脳年齢結果表示>

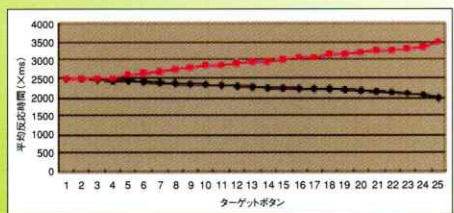


↑赤字が測定者の数値  
青字が年齢別の平均値



## 脳年齢を中心に有効活用度などを測定することができます

脳年齢の要素には3つのポイントがあります。タッチパネル上の数字を順に押して行く事で、記憶力と処理能力の低下傾向がわかります。1回目と2回目の反応時間の差異などからすばやさ、脳の元気度、有効活用度を分析し、脳年齢を総合判定します。



1回目の課題は、ボタンの配置が固定しているため、脳のワーキングメモリーが各ボタンの位置を記憶し、一般的に探索反応時間は短縮します。2回目の課題は、ボタンを押す毎にすべてのボタンがランダムに配置され、都度ボタンを探す必要があり、徐々に脳が疲労していき探索時間が長くなります。

### すばやさ(情報処理能力)

数値の高い方は、実年齢に比べて処理能力に優れ、単純作業の処理が速いことを示しています。

### 有効活用度

自分の本来持っている能力をどの程度、要領よく有効に活用しているかを示しています。

### 脳の元気度

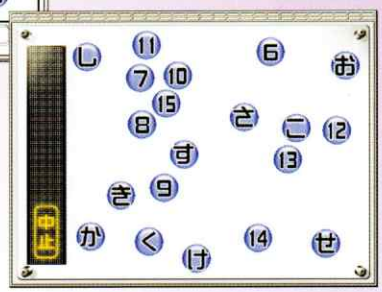
元気度は脳の疲れにくさを示しています。







測定方法 1→あ、2→い、3→う、4→え、5→おと数字とひらがなを交互に押すことで評価をします。



<ストレスチェック結果表示>



## 脳のストレス度を測定できます

これまで日常生活の中で感じている疲労感について評価する適切な方法はありませんでした。ヒトは疲れてくると「刺激に対する反応が遅くなる」「思考力が低下し、注意力が散漫になる」「動作が緩慢で行動量が低下する」などの変化がみられます。ATMTはストレス測定機器としても有効です。

### ■頭の回転度

脳の総合的な精神作業力ともいべき機転(頭の回転)力を算出しています。点数の低い方は、日常の作業においても、常に思慮深い行動が必要でしょう。

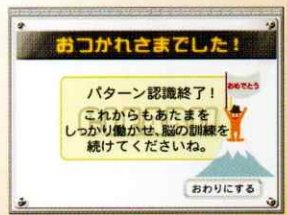
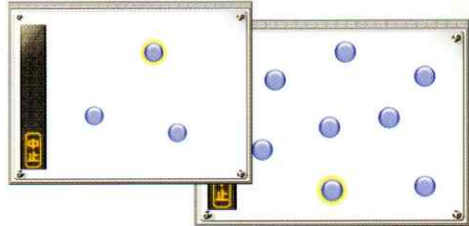
### ■ストレス度

現在の脳のストレス度を示しています。



### ■パターン認識

ボタンの光る順番を覚えて、その順番にタッチする認識するトレーニングです。(ボタンの数は3個~10個です)



脳機能の訓練がタッチパネルに触りながらひとりで楽しくできます

## 脳の測定結果を改善する頭の体操(トレーニング)が行えます

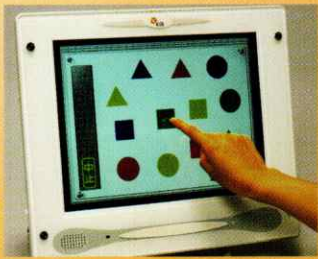
トレーニングコースは2つのタイプから選べます。初級から訓練することにより達成感が味あえます。制限時間がありますが、時間内に出来ない場合は何回でもやり直しが可能です。



初級(果物)



中級(花)



上級(幾何学)

### ■図柄記憶

図柄の色と形、順序を覚える訓練です。(初級、中級、上級の3コースから選択します)

